



# 絵本と タブロー

●三浦太郎（1968年生まれ）は、2004年にヨーロッパで絵本作家としてデビューし、日本国内でも『くっついた』（こぐま社、2005年）や『ちいさなおうさま』（偕成社、2010年）など、意欲的な絵本を次々に発表してきました。優れたデザイン感覚やアイデアあふれる展開で読者を魅了する絵本は、たくさんの国で翻訳出版されています。●愛知県西尾にある、明治時代から続く書店が生家である三浦は、本に囲まれて育ち、「ずっと絵が好きだった」ことで、1987年大阪芸術大学美術学科に入学、シルクスクリーン版画を学びました。卒業後はフリーランスのイラストレーターとして活躍しますが、多忙を極めた日々を過ごす中で本当に自分が描きたいものを描けているのだ

るか、という問いが頭をもたげようになります。そのような時に板橋区立美術館の「イタリア・ポローニャ国際絵本原画展」を観覧し、イラストレーターたちの多彩な作品を目にしました。この展覧会は、イタリアのポローニャ・チルドレンズ・ブックフェアが主催するコンクールの入選作を紹介するもので、毎年春のブックフェア後に日本にも巡回されている展示です。絵本の世界の多様性を知った三浦は自らも応募しようと思い立ち、絵本づくりを始めます。2001年の初入選でポローニャ・チルドレンズ・ブックフェアを訪れ、2003年の2度目の入選で再訪した際に、スイスの出版社から入選作の出版が決まり、絵本を本格的に制作するようになります。現在まで54冊を手がけ、20年以上のキャリアを重ねています。●また、2014年からはステンシルを使って描くタブロー（絵画作品）のシリーズを発表し始め、絵画制作にも精力的に取り組むようになります。さらに近年は心惹かれた哀愁漂う風景を描くようになり、絵本『みち』（あすなる書房、2022年）を手がけるなど、ますます創作の幅を拡げています。●本展は、2022年に板橋区立美術館で開催された初の大規模な個展以降に制作された作品を加え、三浦太郎の絵本とタブローの仕事を存分に紹介するものです。新作絵本『ゆき』（偕成社、2025年）の世界観と連動した初公開となる新作や、茶室「佐喜知庵」のために手描きした襷絵や軸作品も今展の大きな見どころです。ここからまた新しい三浦太郎の創作世界が展開される、その現場を体感できる展覧会です。

## ワークショップ

### 三浦太郎さんと一緒につくろう！

**1 「紙を切ったらなんになる？」**  
 日時 3月20日（金・祝）10:00-11:30  
 内容 紙を切って、ちぎって…、さてなにができるでしょう？  
 対象 年少～年長児までのお子さんとその保護者(1名ずつ)  
 定員 12組 ＊参加費 200円

**2 「紙の街をつくろう！」**  
 日時 3月20日（金・祝）13:30-15:30  
 内容 自分が住んでいる街を紙でつくりましょう。  
 対象 小学生～大人まで  
 定員 20名 ＊参加費 200円

**3 「家族の“くっついた”をつくろう！」**  
 日時 3月21日（土）  
 10:00-10:30/10:30-11:00/  
 11:00-11:30/11:30-12:00  
 内容 絵本『くっついた』の最後の場面をつくりましょう。  
 対象 年少～小学2年生までのお子さんとその保護者(1名ずつ)  
 定員 各回12組 ＊参加費 200円  
 ＊申し込み方法は、当館ホームページをご覧ください。



1『くっついた』（こぐま社、2005年）2『ちいさなおうさま』（偕成社、2010年）3『みち』（あすなる書房、2022年）4『CO<sub>2</sub>のりものずかん』（ほるぷ出版、2008年）5『おばなをどうぞ』（のら書店、2009年）6『りんごがコロコロリンコ』（講談社、2011年）7『たいこどんどん』（ブロンズ新社、2025年）8『あ・あ』（童心社、2013年）9『ゆき』表紙原画（偕成社、2025年）10 風景スケッチ（台湾台南市、2015年）11 こどもアイデンティティ（ミトちゃん、世田谷区、2016年）12 「ワークマン名画 マティス 大きな横たわる裸婦」（2014年）

## トークショー

### 「三浦太郎の絵本を語る」

講師 三浦太郎さん、渡邊千夏さん（絵本作家）  
 日時 1月31日（土）14:00-15:30 ＊13:30開場  
 内容 絵本作家の渡邊千夏さん聞き手にお迎えして、三浦太郎さんの絵本づくりを深掘りし、その魅力に迫るスペシャルなトークショーです。  
 会場 刈谷市中央図書館 3階 大会議室  
 定員 180名  
 ＊参加無料、要事前申込（詳細は当館ホームページでお知らせします）

## 学芸員によるギャラリー・トーク

日時 2月4日・18日、3月4日・18日（隔週水曜日）  
 14:00-15:00  
 ＊参加無料（要展覧会チケット）、申込不要

申し込み方法やイベントの最新情報は  
 当館ホームページ等でお知らせします

# 三浦太郎展 絵本とタブロー

# Taro Miura展

## 2026年1月31日㊥ - 3月22日㊤

休館日/月曜日（ただし2月23日は開館）、2月12日（木）・24日（火）  
 開館時間/ 9:00-17:00（入館は16:30まで）  
 入場料/一般500円、学生300円、中学生以下無料  
 ＊身体障害者、精神障害者保健福祉、療育の各手帳所持者及び付き添いの方（1名）は入場無料。入館の際に手帳をご提示ください（ミライID可）。  
 会場/刈谷市美術館1階第1展示室、特別展示室、ロビー  
 主催/刈谷市美術館 企画協力/板橋区立美術館  
 後援/愛知県教育委員会、日本国際児童図書評議会（JBBY）

■交通のご案内  
 ●電車：JR・名鉄三河線「刈谷駅」下車、南口から徒歩約10分※「刈谷駅」はJR「名古屋駅」から快速で約20分  
 ●車：名古屋方面より＝国道23号線（知立バイパス）「一ツ木IC」から約5km ※駐車場あり（無料80台）

